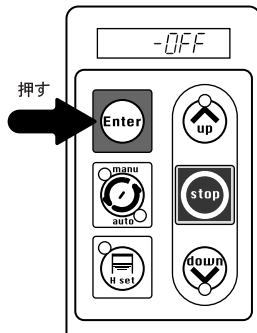


③ 動作チェック

1. 動作チェックモードへの切替



Enterスイッチを3秒以上押しつづけると動作チェックモードに切り替わります。

動作チェックモード中、門番は通常に動作しますが、表示は各スイッチ及びセンサーからの入力があるもののみ表示されます。

2. 動作チェックモードで行える状況確認

<code>-OFF</code>	入力信号無し	<code>13-00</code>	インターロック外部スイッチ入力
<code>01-00</code>	1点スイッチ(手動/自動)信号入力	<code>14-00</code>	スマートインターロック確認センサー入力
<code>02-00</code>	1点スイッチ(自動)信号入力	<code>15-00</code>	スマートインターロック1入力
<code>03-00</code>	インテリジェントセンサー1信号入力	<code>16-00</code>	スマートインターロック2入力
<code>04-00</code>	インテリジェントセンサー2信号入力	<code>17-00</code>	手動閉入力
<code>05-00</code>	光電管センサー1信号入力	<code>18-00</code>	手動開入力
<code>06-00</code>	光電管センサー2信号入力		
<code>07-00</code>	光電管センサー3信号入力		
<code>08-00</code>	光電管センサー4信号入力		
<code>09-00</code>	3点スイッチ上昇信号入力		
<code>10-00</code>	3点スイッチ停止信号入力		
<code>11-00</code>	3点スイッチ下降信号入力		
<code>12-00</code>	インターロック信号入力		

30秒経過しますと、自動的に運転モードに復帰します

シャッターが動かない場合の確認事項と対処

! 門番が動かない場合は、まず最初に電源を確認してください。
 コントローラー内のブレーカー及び一次側のブレーカーが「ON」になっている事を確認してください。

シャッターの状態	考えられる原因	対処方法	入力チェックモードでの確認
Q1 シャッターが開いたまま閉じない	A1 光電管センサーの光軸が物体を検知している	光電管センサーの光軸を遮る物体がある場合は取り除いてください	光電管の1~4のいずれか、または複数がONになっている
	A2 障害物が無い場合は光電管センサーの光軸ズレが発生している	光電管センサーの光軸調整が必要の場合ご連絡ください	
	A3 起動用センサーの検知エリア内に風により揺れ動く物体などがある	障害物がある場合は取り除いてください	起動センサーの1~3のいずれか、または複数がONになっている
Q2 電源が入っているが全く動かない	A6 3点スイッチの停止が何らかの原因で押しっぱなしになっている	スイッチの状態を確認のうえ修理が必要な場合ご連絡ください	3点スイッチのSTOPがONになっている
Q3 起動用センサーが検知しない	A7 床面と検知する物体の色(反射率)が類似していて検出できない	床面と検知物体の色を変える等反射率を変化させてください	起動センサーの1~3のいずれも表示されない

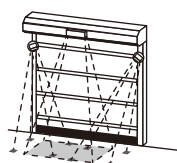
その他症状における確認事項と対処

シャッターの状態	考えられる原因	対処方法	ポイント
Q4 シャッターが全開しない	A8 ECOモードが有効になっている	ECOモードスイッチを押して解除してください。	液晶にECO表示があるかECOボタンのLEDが点灯している場合は、ECOモードが有効になっています

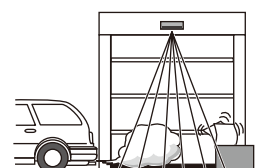
センサーに関するご注意

起動センサーについて

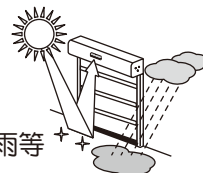
- ① 検知エリアが重なる場合、相互干渉により誤作動する場合があります。
- ② 風で揺れ動く物(植木や紙・ダンボール等)を検知し誤作動する場合があります。
- ③ 蒸気・油煙などにより誤作動する場合があります。検知エリアに掛からないようにしてください。
- ④ 急激な降雨・降雪等により床面が急激に変化した場合誤作動する場合があります。
- ⑤ 床面の反射率が高い場合、太陽光等の影響により誤作動する場合があります。



① 検知エリアの干渉



②③ 蒸気や煙・風で揺れる物



④⑤ 太陽光・急な大雨等

- ・ 強い電波やノイズを発生する機器は誤作動の原因となるため近くに置かないでください。
- ・ 物体の速度や設置環境・床面・対象物(服装・材質・色)により、検出する位置が異なる場合があります。
- ・ 静止物体検知機能は、人体や小型の物体の場合、大型物体に比べ検知し続けられない場合があります。

光電管センサー (障害物検知用) について

- ・ 光電管センサーの設置は通過する物体にあわせて設置してください。
- ・ 光軸をまたいだ状態は検知しないため下降中のシートは反転上昇しません。
- ・ 光電管キャンセル位置を設定した場合、設定位置から床までの間は検知せずシートが反転上昇しません。
- ・ 光電管センサーは定期的な点検が必要です。月に一度程度光電管センサーの動作状態を確認し、万一故障の疑いがある場合は、すみやかに取扱店にご連絡ください。

薄型光電管センサーの調整



注意

- 感度ボリュームは動かさないでください。
シャッターが誤動作して事故につながります。



- ・光軸調整はセンサーの取付ネジをゆるめてから行ってください。
- ・必ず手動運転で調整を行ってください。
- ・調整後はきちんとネジを締めつけてください。

- ・調整は赤ランプで確認し検知範囲のほぼ中央でセットします。
- ・安定表示灯（緑ランプ）が点灯していることを確認してください。
（緑ランプが点滅あるいは消灯する場合は検知が不安定な状態です。）

「保護構造 I P 6 6」

